

薬物依存症にならないためにはどのようにすれば よいか知っていますか？

薬物依存症の特徴は、次の7つである。

薬物依存症の7つの特徴

- 1 自分の意志に反して薬物を使用してしまう。
- 2 いつでもやめられると思っているがやめられない。
- 3 病気なので、適切な治療及び回復への援助が必要となるが、自分や家族だけの力ではどうしようもない。
- 4 薬物を使えば使うほど、以前の量では効果が得られなくなる。これを薬物の「耐性」といい、量を増やすことで問題がさらに深刻化していく。
- 5 自分では薬物依存症ではないと病気であることを否定する。
- 6 心身とも病気であるため、症状が進行すると体はボロボロになり、死に至る病気である。心は絶望の淵に立たされ、友達や家族の信用を失い、社会的に孤立してしまう。
- 7 自分ではどうしようもなくなって、家族や友達など身近な人たちを巻き込んで何とかしようとするが、どうにもならない。

薬物乱用を始めるきっかけは、快感への追求、好奇心といったものがほとんど思われているが、それだけではない。「やせられる」「自信がつく」「充実感がある」「スカッとする」「元気がでる」といった誘い言葉についのせられ、危険な薬物とは知らずに手を出したり、遊び友達、昔の同級生、職場の仲間など、信頼のおける身近な人からすすめられ、いつのまにか薬物に染まる場合もある。また、偶然の出会いも多く、たまたま行った友人宅のパーティーで薬物をすすめられることもあり、日頃から注意しておくべきである。

誘い言葉についのせられ、危険な薬物とは知らずに手を出したり、信頼のおける身近な人からすすめられ、いつのまにか薬物に染まる場合もある。すぐ身の回りにある危険として、よく注意して行動すべきです。